

令和5年度 九州学生ラグビーリーグ 開催規約および実施要項

1.名称

本リーグ戦を九州学生ラグビーリーグ (A,B,C,D, ジュニア) と称する。

名称は、「九州学生ラグビーリーグ A」「九州学生ラグビーリーグ B」「九州学生ラグビーリーグ C」「九州学生ラグビーリーグ D」「九州学生ラグビーリーグ・ジュニア」とする

2.主旨

九州地区大学ラグビーの競技力向上を図るため、試合の機会をより多く与え、大学チーム間の親睦とラグビーの発展、強化、普及に寄与する。

3.主催及び主管

本リーグ戦は九州ラグビーフットボール協会が主催する。

本リーグ戦の競技は、各県協会が主管する。

4.運営

本リーグ各部 (A,B,C,D, ジュニア) の運営は、九州大学委員会の別に定める

(リーグ運営担当,各リーグの指導者連絡会)とする。運営補助は学生実行員が行う。

5.表彰

リーグ A の 1 位 (優勝) とリーグ A2 位 (準優勝) , ジュニアの優勝を表彰する。

6.加盟

本リーグ戦への加盟は九州ラグビーフットボール協会に加盟している大学チームとし、各リーグに所属する。

本年度の加盟チームは、次の通りとする。

リーグ A : 福岡工業大学・九州共立大学・鹿児島大学・福岡大学・日本文理大学・西南学院大

リーグ B : 九州大学・熊本大学・志學館大学・宮崎大学・大分大学・沖縄国際大学

リーグ C : 長崎大学・名桜大学・立命館アジア太平洋大学・九州産業大学・琉球大学

・九州工業大学

リーグ D : ・佐賀大学・久留米大学・北九州市立大学・久留米大学医学部・九州大学医学部

・九州歯科大学・九州大学歯学部・産業医科大学・福岡大学医学部

(令和5年7月20日現在)

7.リーグ加盟チームの義務

(1) 順位決定戦の1位チームに全国大学ラグビー選手権への出場資格を与え、その義務を負うものとする。

(2) 順位決定戦の5位チームに全国地区対抗大学大会への出場資格を与え、その義務を負うものとする。

(3) 順位決定戦などの最終結果が次年度の参加リーグとなる

リーグ A : 1 位~6 位・リーグ B : 7 位~12 位・リーグ C : 13 位~18 位・リーグ D : 19 位~

8.参加資格

(1)参加チームは、九州ラグビーフットボール協会に加盟・登録している大学チームとする。

(2) 参加選手は大学に在籍する正規の学生及び大学院生であり、且つ九州ラグビーフットボール協会に個人登録している者であること。但し、8月末までに登録されたものに限る。

研究生、科目等履修生、聴講生、研修生などは正規の学生に含まない。

(3)外国籍の選手は当該年度4月までに正規学生として入学し、その後継続的に日本に居住し、部員として練習その他の活動を共にしていること。なお、競技区域内にいるプレーヤーの、外国籍選手は3名までとする。但しリザーブ選手に人数制限は設けない。外国人選手の9月

入学者(正規学生)は10月末までの登録とする。

(4)試合出場交代選手は登録選手の中から該当試合前に提出した23名の選手内であること。

(5)公益財団法人日本ラグビーフットボール協会選手・役員規定に反するものは参加を認めない。

(6)A、Bリーグはリーグ戦参加料を **50,000円**とする。C、Dリーグはリーグ戦参加料を **30,000円**とする。毎年9月末までに九州協会に振り込むこと。

(7)その他、参加資格に疑義がある場合は、九州協会において裁定する。

9.競技規則

(1)2023年度公益財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則による。

(2)リーグAとBの試合時間は40分ハーフとする。リーグCの試合時間は35分ハーフ、リーグDは30分ハーフとするとし、1位～8位の順位決定戦は40分ハーフ、11位決定戦以下は35分ハーフとする

(3)リーグ戦での対戦チームどうしの勝敗の決定方法

1)同点の場合は引き分けとする。

2)やむをえず棄権する場合は理由書を添えて大学委員長に提出し運営委員会で審議する。棄権したチームは不戦敗とする。相手チームは不戦勝とする。

3)運営委員会に連絡せずに15名揃わず試合を行った場合は、勝敗に関係なく相手チームの不戦勝とする。

①リーグ戦での順位決定方法

i)勝ち点とボーナス点により獲得点数の多いチームが上位する。

a.勝ち点：4点、引き分け：2点、負け：0点

※不戦勝の場合は4点、不戦敗は0点とする

※得失点差は21・0とする(得失点差の確認が必要な場合)

b.ボーナス点：1)負けても7点差以内ならば、勝ち点1を追加。

2)勝敗に関係なく、4トライ以上のトライを獲得したチームに、勝ち点1を追加

ii)勝ち点とボーナス点による獲得点数が同点の場合は、以下の順序で順位決定する。

<2チーム同率の場合>

a.直接対決で勝利を収めているチームを上位とする。

b.当該チーム間の試合でトライ数の多いチームを上位とする。

c.トライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

d.リーグ戦全試合の総得失点差の多いチームを上位とする。

e.リーグ戦全試合の合計トライ数の多いチームを上位とする。

f.上記で決定できないときは、抽選とする。

<3チーム以上同率の場合>

当該チーム(3チーム以上)との対戦試合で

a.トライ数の多いチームを上位とする。

b.トライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

c.リーグ戦全試合で総得失点差の多いチームを上位とする。

d.リーグ戦全試合の合計トライ数が多いチームを上位とする。

e.上記で決定できないときは、抽選とする。

②順位決定方法

1位～4位；リーグAの1位～4位のチームで1位～4位決定トーナメントを行う。

5位～8位；リーグAの5位・6位、リーグBの1・2位チームで5位～8位決定トーナメントを行う。

9位～10位；リーグBの3位・4位をそれぞれ9位・10位とする。

11位～14位；リーグBの5位・6位、リーグCの1・2位チームで11位～14位決定トーナメントを行う

15位～16位；リーグCの3位・4位をそれぞれ15位・16位とする。

17位～20位；リーグCの5位・6位、リーグDの1・2位チームで17位～20位決定トーナメントを行う

21位～27位；リーグDの3位～9位を順次21位～27位とする。

i) 順位決定戦での勝ち進みと順位決定方法

順位決定戦で引き分けの場合は、以下の方法で勝利チームを決定する

- a. トライ数の多いチームを勝利チームとする。
- b. トライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームを勝利チームとする。
- c. aとbの両方が同じ場合は、リーグ戦での上位チームを勝利チームとする。

ii) Dリーグのトーナメント戦の順位決定は以下の順序で勝利チームを決定する

- a. トライ数の多いチームを勝利チームとする。
- b. トライ数が同数の場合はトライ後のゴール数の多いチームを勝利チームとする。
- c. 上記で決定できない時は抽選で決める。

10. 競技方法

(1) 競技の執行

各リーグの競技の執行は、各リーグ運営委員会のもと学生実行員を中心に学生が行う。

(2) 競技の棄権、中止及び延期

- ① 当該チームのどちらかに何らかの支障があり、棄権もしくは期日の変更を余儀なくされた場合は、そのチームの責任者は少なくとも1週間前までに、所属リーグ運営委員、各地区県協会大学委員長、各地区県協会、九州協会大学委員長、にクラブ代表部長（教員・職員）の署名捺印のある書面をもって理由を報告しなければならない。
- ② リーグ運営委員は上記の連絡及び理由書を受託後、速やかに運営委員会及び九州協会大学委員会に諮り、競技の中止及び延期を決定し、各地区県協会大学委員長、各地区県協会、九州協会に報告する。
- ③ 学生実行委員、リーグ運営委員は台風等の天候悪化、自然災害により競技の実施が困難な場合は、リーグ運営委員及び大学委員会委員長に諮り、競技の中止及び延期を決定し、各地区県協会大学委員長、各地区県協会、九州協会に報告する。
- ④ 決定後、当該チームよりレフリー、アシスタントレフリー並びに競技関係者へ直ちに決定を連絡する。※九州協会からの連絡もお願いする

(3) 試合開始70分前にプレマッチミーティングを行う。

- ① 参加者はマッチコミッショナー、レフリー、アシスタントレフリー、両チームの主務、セーフティアシスタントとする。（当番チームからの第3アシスタントレフリーを含む）
- ② マッチコミッショナーが進行し、試合開催にあたっての確認を行う。
- ③ マッチコミッショナーはプレマッチミーティング迄に、両チームのメンバー表の提出及びレフリー、アシスタントレフリー、ドクターの名前を確認の上、両チームへ報告する。

(4) レフリー及びアシスタントレフリー

レフリー及びアシスタントレフリーは九州協会及び各県レフリーソサエティで指名された者とする。

- ① 各リーグのレフリー及びアシスタントレフリーの依頼は、九州協会レフリーソサエティが行う。
- ② アシスタントレフリーの派遣者がいない場合は、公平で厳正なジャッジができる第三者が行い、止むを得ない場合のみ両チーム合意の上で経験豊かな当該チーム関係者が行う。
- ③ 第3アシスタントレフリー派遣者がいない場合は、学生実行委員会、又は公平で厳正なジャッジができる第三者とし、やむを得ない場合のみ両チーム合意の上で当番チームが行う。
- ④ 第3アシスタントレフリーは、試合開始の70分前までに、両チームのメンバー表の受け取りレフリー、アシスタントレフリー、ドクターの確認を行うこと。

(5) セーフティアシスタント

- ① セーフティアシスタントは各チームより有資格者を1名出し、必ずリーグ指定のビブスをつける。
- ② 試合中、セーフティアシスタントはテクニカルゾーンで待機する。

(6) ボール及びボールボーイ

- ① 試合ボールは協会から配給されたボールを用い3ボール制とする。協会からの配給がない場

合は各チームから供出する。

②ボールボーイは、当該チームより2名ずつの4名とする。

(7)ドクター及び救急対策

①マッチドクターは九州協会及び各県協会指定された者とする。

②試合中の負傷についてレフリーの要求が合った場合は、担当のマッチドクターが処置をし、チームドクターはグラウンドに入らない。

③マッチドクターが派遣されていない場合は、当該チームのチームドクターに依頼する。

④ドクターがいない場合はレフリーの判断に委ねる。

⑤試合中各世話係は、レフリー又はドクターの指示が合った場合及びレフリーに許可を得た場合以外は、フィールドオブプレーには絶対に入らない。

⑥ドクターがいない場合は、当番校は当日の救急病院を把握しておき、迅速に対処する。

(8)ウォーターボーイ

①試合中の水分補給のため各チーム2名までウォーターボーイを準備できる。

②試合中の水分補給は、ボールデッド時に限り、グラウンド内に入れる。

③ウォーターボーイは必ずリーグ指定のビブスを付けてテクニカルゾーンで待機する。

(9)記録

公式記録は当番校が本部席で行う。試合終了後、スコア及び試合経過の確認をマッチコミッショナーと行い、マッチコミッショナーとマッチオフィシャルとドクターのサインをもらい終了後直ちに、広報指定のメーリングリストへ送付する。

(10)リーグの試合は一部有料試合を行うこともある。運営は九州ラグビーフットボール協会、大学委員会、各リーグ参加の学生実行委員、リーグ参加チームの指導者連絡会が行う。

11.競技上の留意事項

(1)メンバー表提出

①各チームは試合開始70分前に、所定の用紙に記載した試合メンバー表をマッチコミッショナー或はゲームを管轄する当番チームの責任者に提出しなければならない。

②学生実行委員或はゲームを管轄する当番チームの責任者は、試合メンバーについて別途協会に提出されているチーム別個人登録名簿に名前が記載されているか確認し、両チームの試合メンバー表のコピーを第3アシスタントレフリー及び協会派遣者に提出する。

(2)グラウンド入場

試合チームのグラウンド入場はキックオフ時刻10分前以内とする。

(3)セカンドジャージ

両チームのジャージが似ている場合は実行委員及びレフリーの指示によりセカンドジャージを着用する。※試合前日までに当該チーム同士で確認し、当番校からレフリーに伝える

(4)キックティ

キックティを使用する場合はチームで準備し、ゲーム中はチームのセーフティアシスタントが管理する。

(5)ドレスチェック

①レフリーのドレスチェック(服装点検)があるが、事前にスタッドの交換、ねじ締め、爪切りをすませておく。キャプテンはレフリーにドレスチェックの時間・場所を確認しておく。

②プレーヤーの服装は、競技規則第4条「プレーヤーの服装」を厳守すること。

③試合中ストッキングがずり落ちないように、プレーヤーに十分注意させる。

④ジャージ、パンツがひどく汚れた場合はレフリーの指示によって取り換える。セカンドジャージ・パンツを準備する。

⑤パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れること。また、ジャージの襟を内側に折り入れない。

(6)選手の入替え、交替

①選手の入替え、交替は第3アシスタントレフリーが管理し、必ず第3アシスタントレフリーを通して行わねばならない。

②選手の入替え、交替は、レフリーの許可のもとに出入りする。

③リザーブ選手の上限は8名とし、指名する人数とフロントローとして適切に訓練され、かつ

経験のあるプレーヤーの人数は競技規則第3条5項に示される下記の通りである。

指名人数	フロントローの人数
15名以下	3名
16名から18名	4名
19名から22名	5名
競技規則3.14により22または23名	6名

④選手の入替え、交替人数の総数上限は8名とする。

⑤選手の負傷交替は医師の診断を受けてからとする。

(7)ノンコンテストスクラム

① ノンコンテストスクラムは、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則を採用する。

(8)ハーフタイム

①ハーフタイムの休憩時間を12分以内とし、事前に、レフリー、両チームキャプテン及び協会派遣者を交えて時間の協議を行い、決定する。

②ハーフタイムの時間が5分を超える決定をした場合、その間チームはフィールドオブプレーを離れることができる。

③ハーフタイム時に、フィールドオブプレーに入ることができるのは8名までとする。チーム監督及びコーチ、さらにセーフティアシスタントと選手の世話係と定めた者のみとする。

(9)ドーピング検査

プレマッチミーティングでドーピング検査の指示を受けた選手は、試合終了後、速やかに検査員の指示に従うこと。

(10)広告の掲出

①チームの選手は、企業等の広告を掲出した服装を着用して公式戦（日本協会、支部協会、都道府県協会、全国高等学校体育連盟等の主催する試合をいう。以下、この条において同じ。）に出場することができない。

②チームの選手は、企業等の広告を掲出したスタジアムコート、トラックスーツ等（全ての衣類を対象とする）を着用し、又は企業等の広告を掲出した競技運営備品等（全ての所持品を対象とする）を所持して公式戦の行われている競技場敷地内に立ち入ることができない。

③前2項の規定は、当該広告が日本協会と企業等との間の契約に基づくものである場合、又は日本協会が広告掲出を特に承認した場合には適用しない。

(11)応援について

① 試合中、笛や太鼓等鳴物の使用は競技に支障を来すので厳禁する。

② 過度な応援は慎む。

③ すべての応援については一切チームが責任を持つ。

④ チームの応援用横幕は、縦1m以内、横5m以内の範囲で、協会とスポンサー契約をしていない企業名、マークは載せられない。事前に学生実行委員会に届け承認をもらう（1チーム2枚以内）。

(12)その他

①アシスタントレフリー、セーフティアシスタント、ボールボーイ、ウォーターボーイを学生が担当する場合は、服装を統一し、行動は機敏に行うよう各チームで指導する。また、ゲーム中にプレーヤーに指示を出したり、レフリーや相手チームの中傷を行わない。

②チームゾーン及びテクニカルゾーンを採用する。

③更衣室・選手控室の管理は使用チームが行う。試合終了後、更衣と清掃を速やかに行い、次の試合チームへ明け渡す。

④選手は試合終了後裸体で更衣室・選手控室外に出ない。

12.会場設営

- (1) 当番校は次のことに責任を持つ。
 - ①競技場の使用確認、協会派遣理事、レフリー、ドクターへの連絡確認を1週間前までに行う。
変更がある場合は、リーグ運営委員、県協会大学委員長に連絡し、対処する。
 - ②競技場及びグラウンドの準備・設営
 - 競技場を使用する場合：本部、レフリー控室、更衣室、協会旗掲揚、得点板、両チームベンチ、机、椅子、担架、トラック横断用シート設置、チケット販売場
 - 競技場以外で行う場合：テント、本部、レフリー控室、更衣室、協会旗掲揚、得点板、両チームベンチ、机、椅子、担架
 - グラウンド：危険物の撤収・蔽い、ライン、コーナーフラッグ

※重要：試合開始 90 分前までに競技場及びグラウンドの準備を終える。ただし、会場の時間制限等などに配慮し、対応する。
 - ③チケット・プログラム販売
 - ④関係者・観客の誘導
 - ⑤試合終了後の片づけ、清掃
 - ⑥単一ゲームの場合は、協会へ公式記録の送付、報道機関への連絡を行う。
- (2)学生実行委員は次のことに責任を持つ。
 - ①競技運営を支障なく行うための計画、準備、実施、撤収。
 - 1) 試合ボール、協会旗、タッチフラッグの準備。
 - 2) 協会から派遣がない場合の第3アシスタントレフリー。
 - 3) 有料試合におけるアナウンス。
 - 4) 協会関係者案内
 - 5) アフターマッチファンクション準備 ※コロナ禍での開催はなし
 - 6) その他
 - ②協会へ公式記録の送付、報道機関への連絡を行う。
 - ② その他競技運営上に生じた問題・支障に関して協議すること。

13.個人情報及び肖像権について

大会参加に際しご提出頂きました関係書類から、参加者の個人情報を下記の目的のために使用致します。なお、情報の管理につきましては遺漏のないように努めます。

また、必要に応じて報道関係、関係雑誌等に写真や情報を提供することがあります。

- (使用目的)
- 1 参加資格の確認
 - 2 大会プログラムへの掲載
 - 3 九州ラグビーフットボール協会HP及び公式 SNS への掲載
 - 4 その他関係資料への掲載

本大会に参加申し込みされたことにより、個人情報・肖像権の取扱いについては、上記記載事項に関して承諾を得たものとします。

14.その他

本規約に定めない事項については、九州ラグビーフットボール協会大学委員会及び加盟代表者会議の決議により、これを決定する。

<付則>

- (1) 九州ラグビーフットボール協会大学委員会申し合わせ事項
同一大学系列、同一キャンパス内にある短期大学生で、上記8の(2)のチームで部員として練習その他の活動を共にしている正規の学生は、九州ラグビーフットボール協会大学委員会の申し合わせ事項として九州学生ラグビーリーグ戦に限り参加資格を認める。しかし、全国大会への出場参加資格は与えられない。
- (2) リーグ D における申し合わせ事項

チームのゲーム機会を失わせないため、競技は原則として15人制で行うが、参加チームの登録人数が15人に満たない場合、或いは試合開催日以前に何らかの支障があり15人が揃わないという明確な理由が事前に報告された場合、各地区大学委員長のもと当該両チームの協議を経たのち両チーム了解のもと12人制以上の人数の試合を行うことができる。但し、当該試合においては、勝ち進みや順位決定戦の勝利チームの権利は失する

(3)本規約は令和5年9月1日から実施する

(4)本規約の改訂は、改訂案を九州ラグビーフットボール協会大学委員会で検討し、九州ラグビーフットボール協会理事会で審議了承された後、施行される。